

湯梨浜中学校だより

湯梨浜町立湯梨浜中学校 校長 武田基資 (令和4年2月8日)



三智創造

人間の可能性

冬季オリンピック2022北京大会が始まりました。先週金曜日の開会式ではCO₂排出の少ない聖火台も話題になりました。すでに日本人選手の金メダリストも誕生していて、今後も各種目での活躍が期待されます。

夏季、冬季問わずオリンピックでは人間のもつ大きな可能性を見せつけられます。それは身体的にも精神面でも。四年に一度(東京大会は一年延びましたが)のこの日のために練習を重ねてこの日にピークをもってくること。そしてどんなに進歩してもさらに新記録が出ること。屋外競技では風など自然現象の変化に即座に応じる技。何よりこのコロナ禍にあっても目標を見失わず日々努力を積み上げてきた強い精神力。また、表面には出にくいのですが各競技の用具の開発、改良を進める技術者の努力もすばらしいと思います。

こうした選手に関わるすべての人の努力が競技を支えているのだらうと思います。そしてやはり、そうした期待をすべて背負って力を発揮できる選手自身の強さに引き込まれます。

進路を拓く学習

中学校の大きな使命の一つが卒業後の進路を切り拓く力をつけることです。それは、将来にわたって自分の資質・能力を磨き、世の中に貢献しながら生き抜いていくための基礎的な力を身につけさせることですが、そうは言っても目の前に迫っている高校等への進学はとても重要な課題です。

現在多くの3年生は志望校を定めて受験に向けての取り組みを進めていますし、中にはすでに受験を終え、合格内定をもらっている生徒もいます。

先週の金曜日には2年生の進路学習として、中部地区を中心に7つの高校の先生や湯梨浜中、東郷中、北浜中を卒業した生徒においでいただき、それぞれの高校の紹介をしていただきました。

中部地区でも新型コロナ感染が収まりきらない中で実施を迷いましたが、お互いに感染対策を万全に行って実施することにしました。



各校の先生方は動画やスライドを準備してわかりやすく学校の特徴を伝えてくださいました。特に生徒が来てくれた高校では、実際の学校生活の様子や高校卒業後の進路についてより具体的な話が聞け、2年生も高校のイメージがつかみやすかったようです。

高校の先生方からは、2年生が真剣に説明を聞き、積極的に質問した生徒も何人もいたと、高い評価をいただきました。

これをきっかけに将来を真剣に考えたり、具体的な目標をもったりして、目標達成のための努力を重ねてくれることを期待しています。

